

平成30年度第3回 旭区区政会議（活力・安全部会）における追加意見等への対応方針

※分類

- ①平成30年度において対応済み
- ②令和元年度運営方針に反映または令和元年度中に対応予定
- ③令和元年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

平成30年度第3回 旭区区政会議（全体会議及び各部会）における下記以外のご意見に対しては、令和元年7月10日開催の旭区区政会議（全体会議）にて対応方針報告済み

番号	委員名	意見	対応方針	分類
●旭区運営方針について				
1	石中委員	<p>【戦略4-1】 参考資料「平成30年度第2回旭区区政会議（全体会議・各部会）における意見への対応方針」について 1. 4ページの15番・石中委員への対応方針 「大阪市の水道管路の耐震管率は平成29年度末で28.6%と低く、震災時には消火栓の活用できない可能性があります。」とある。確かに大阪市の水道管の耐震化率は低いですが、地震の大きさと水道管の破損率の因果関係はどの程度あるのか。</p> <p>調べた範囲内では震度6がもっとも火災が発生しやすいとの報告（兵庫県立大学の室崎防災教育研究センター長 https://www.projectdesign.jp/201510/new-disaster-prevention-measures/002469.ph）があります。</p> <p>大阪北部地震でも水道管の破損はあったようだが、震度6弱の吹田市や箕面市では通水率は80～90%以上であった（「大阪府北部を震源とする地震被害アンケート結果について」日本水道協会 平成30年11月）。</p> <p>よって火災が発生しやすいと言われる震度6の地震でも、水道管は破損して消火栓が使えなくなる可能性が高いとは言えない。</p> <p>さらにもう1点は大阪市消防局に市民による消火栓使用を奨励してほしいのではない。</p> <p>旭区新森の防災リーダーは道路の地下式消火栓を初期消火に役立てたいので、消火栓使用の訓練に協力してほしいということである。</p> <p>再度ご検討をお願いする。 (H31.2.27 活力・安全部会にかかる追加意見等)</p>	<p>【市民協働課（防災安全）】 ご質問の地震の大きさと水道管の破損率の因果関係を示す資料は見当たりませんでした。大阪北部地震の際の吹田市や箕面市の事例から、火災が発生しやすい（とされる）震度6の地震で消火栓が使えなくなる可能性が高いとは言えないというご意見につきましては、区役所としても引き続き調査・検討してまいります。</p> <p>新森地域における消火栓を利用した初期消火訓練の実施につきましては、消火栓の管理を行う水道局と消火活動を担う消防局に以下の通り確認を行いました。</p> <p>水道局からは、「市民の方が公設消火栓を用いることは想定しておらず、公設消火栓は口径も家庭用と比べて極めて大きく水圧も高圧で、大変な危険を伴ううえ、バルブの開閉作業を誤ると周辺地域で水道水が濁ってしまう可能性も考えられる。」との見解を得ました。</p> <p>消防局からは、「地域防災に資する内容であり、消防局として可能な範囲で協力することは可能である。しかしながら、消火栓を活用した消火方法には消火活動に係る一定の留意事項があり、関係部署との調整が必要である。」との見解を得ました。</p> <p>今後、ご提案の地域防災訓練が実施できるよう、区役所としても、関係先と引き続き協議・調整してまいります。</p>	②
2	石中委員	<p>【戦略4-1】 参考資料「平成30年度第2回旭区区政会議（全体会議・各部会）における意見への対応方針」について 内容が違う。</p> <p>意見は「大阪市消防局が市民が消火栓を利用して地震の時に初期消火に役立てたいという意見に対して、その必要性を認めないのなら直接お願いした住民に説明してください。」というのが趣旨である。 (H31.2.27 活力・安全部会にかかる追加意見等)</p>		

令和元年度第1回 旭区区政会議（全体会議）における追加意見等への対応方針

※分類

- ①平成30年度において対応済み
- ②令和元年度運営方針に反映または令和元年度中に対応予定
- ③令和元年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	委員名	意見	対応方針	分類
●その他				
1	鎌田委員	<p>防災・防犯・後継者・子育てなど、安心して住み続けられるあたたかい町・旭区にするためには、すべては、区民・地域がコミュニケーションを取ることが原点と思う。どんなに良い組織や受け皿があっても活用しなければ無いに等しい。一部の限られた人だけのものではないし、隣近所でコミュニケーションを取ることができれば、解決できる問題だと思う。コミュニケーションを取るため、できるだけ人と話をするように心がけている。たくさんの人と何気ない会話の中で、お互いに困っていることや楽しいことについて、お互いに助け合っていると思う。一人でも多くの方がたくさんの人と会話できることを願っている。</p> <p>(R1.7.10 全体会議にかかる追加意見等)</p>	<p>【企画総務課（企画調整）】</p> <p>ご意見、ありがとうございます。「旭区将来ビジョン2022」における、めざすべき将来像として、「安心して子育てできるまち」・「やさしさあふれるまち」・「活力あるまち」・「安全に暮らせるまち」を掲げておりますが、ご意見にありまますとおり、豊かなコミュニティを醸成し、めざすべき将来像を実現させるため、今後も各施策の取組を進めてまいりますので、今後ともご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>	⑤